

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330321064	保育内容（表現）（1単位）	永津利衣・古田年寿			1	必修	1前期

## 科目の概要

本科目ではDP1.3.5をふまえ、「真心・努力・奉仕・感謝」の精神を大切にしながら、自らの可能性を広げ、社会的自立に必要な力を総合的に身に付けるとともに、保育者に求められる専門的知識・技能の修得を目指す。子どもたちが主体的かつ創造的に表現活動を行えるよう、発達段階に応じた表現の特徴を理解し、多様な体験を通じて学びを深める。特に、子どもの図画表現や音楽表現の発達過程を理解し、教育・保育現場で実践的に活用できる表現方法を身に付けることを重視する。さらに、子どもの表現に関する幅広い知識を習得し、小学校での学びとの関連性を考察していく。

学修内容	到達目標
① 幼稚園教育要領等をふまえ、乳幼児の表現に関する発達を理解する。 ② 表現の楽しさを体験し、感性を養うために必要な表現の技能および表現遊びの方法を体得する。 ③ 子どもの視点に立って制作や音楽の表現の工夫をする。	① 幼稚園教育要領等をふまえた乳幼児の表現に関する発達の知識を獲得し、理解することができる。 ② 感性を養うための表現とは何かを理解し、その活用として、造形遊び・音楽遊びを考案することができる。 ③ 子どもの視点に立って課題を解決し、創意工夫をふまえた発展的な制作や音楽の表現を実践することができる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題を実施するのに必要な知識について、資料を使って自己学修することができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	推測で判断せずに、客観的に情報を整理して、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	固定観念に捉われることなく、多角的に物事を考察することができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見を整理し、工夫した発表をすることができる。
	傾聴力	他者の意見を確認し、真摯な態度で耳を傾けることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	提出物などの期限や、授業のルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

適宜資料を配布する。「幼稚園教育要領解説」（平成29年3月公示）、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（平成29年3月公示）、「保育所保育指針解説」（平成29年3月公示）

## 他科目との関連、資格との関連

本科目は、学科専門科目群の幼・保領域領域の中の「保育の内容・方法に関連する科目」に配置されており、保育内容の5領域に関連する科目であり、「保育内容（表現）音楽の指導法」「保育内容（表現）造形の指導法Ⅰ・Ⅱ」につながる科目である。保育士資格、幼稚園教諭1種の必修科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>・街中で出会う子どものさまざまな表現する姿や、自然や身の回りの様子に関心を寄せ、観察しよう。</li> <li>・自分自身の内面の動きに着目しながら、さまざまな表現にチャレンジしよう。</li> <li>・グループの協働学習においては、互いを尊重し合い、自由な表現を認め合おう。</li> <li>・授業の解説の中で大切だと思うことをメモする習慣をつけよう。</li> </ul>	今後、表現について学んでいく上で基礎となる科目である。やむを得ず欠席、遅刻・早退する場合は、本学の学則等に則って行う。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	小テスト		0	①				
				②				
				③				
	レポート		0	①				
				②				
③								
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			（獲得）乳幼児の表現活動を自分なりに体感して、乳幼児期の表現領域について理解することができる（30%） （活用）表現への欲求に関する感性について、体感したことを言語化したり、自分なりの表現の発表ができる（40%） （解決）幼児期の表現に向かう感性について、言語化したことや、作品や演奏を他者と共有し、自身の感性を広げることができる（30%）	
			②	✓				
			③	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）課題を実施するのに必要な知識について、資料を使って自己学修することができる。 （実行力）困難があっても目標を変更せず到達することができる。 （課題発見力）推測で判断せずに、客観的に情報を整理して、課題を見極めることができる。 （創造力）固定観念に捉われないこと、多角的に物事を考察することができる。 （発信力）自分の意見を整理し、工夫した発表をすることができる。 （傾聴力）他者の意見を確認し、真摯な態度で耳を傾けることができる。 （規律性）提出期限などのルールを守って行動することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) 幼児の発達について理解した上で、感性を養うためのさまざまな表現遊びを豊かな発想で考案し、創意工夫して実践することができる。</p> <p>A (優) 幼児の発達について理解した上で、感性を養うためのさまざまな表現遊びを考案し、創意工夫して実践することができる。</p>	<p>B (良) 幼児の発達について理解した上で、さまざまな表現遊びを考案し、創意工夫して実践することができる。</p> <p>C (可) さまざまな表現遊びを考案し、実践することができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<オリエンテーション> 本科目の目標 授業計画の説明 持参物、材料の説明	講義 小演習 NotebookLM	本科目の目標と授業の構成について、大まかに理解できている	(予習) 『幼稚園指導要領解説』等における領域「表現」を熟読する (復習) 持参物の準備をする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	<表現への欲求>① (古田) ・原始美術や中世ヨーロッパの初期キリスト教美術に見る人類の造形表現の根源とは(絵画)	講義 作品制作	表現する行為の根源に迫り、作品制作に取り組んでいる。 (作品についての小レポート提出)	(予習) 世界中の洞窟壁画についてリサーチする (復習) 作品についての小レポートを完成させる。(次週提出)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	<表現への欲求>② (古田) ・立体作品(紀元前)に見る人類の造形表現とは(立体) 土偶の制作	講義 作品制作 (作品提出)	立体に表現された紀元前の立体作品に関心を持ち、制作に取り組んでいる(立体作品の提出)	(予習) 紀元前の立体作品についてリサーチする。 (復習) 作品に託した自分の考えや、想いをまとめておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	<紀元前の絵画、立体作品と幼児の造形表現>(古田) 紀元前の絵画、立体の表現と幼児の絵画、立体表現との共通性をグループで考察し、発表する	講義 演習 グループワーク発表	紀元前の絵画、立体表現と幼児の絵画、立体表現との共通性を考察することに関心を持ち、グループワークの話し合いに参加し、自分なりの考えを持つことが出来る(小レポートの提出)	(予習) 自分の幼児期の作品も含め、幼児の絵画、立体作品についてリサーチする (復習) グループワークの話し合いを基盤に、自分なりの考えを小レポートにまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	<表現の融合①>(古田) 童謡、唱歌の歌詞やメロディーから場面をイメージして絵を描く。	講義 作品制作	歌詞やメロディーからイメージした情景や場面が分かりやすく表現できている。 (作品提出、小レポートの提出)	(予習) 童謡、唱歌集の挿絵や、CDジャケットのデザインをリサーチしておく。 (復習) 作品、小レポートを完成させ、次回提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	<表現への欲求③～音楽する人間>(永津) 世界の民族楽器や、身の回りの音の出るモノ、声を使った表現などを手掛かりに、人間にとって音や音楽で表現することの意義について考える。	講義 演習 小レポートの提出	音や音楽で表現することの意味を考え、自分なりの考えを持つことが出来る。	(予習) 自分自身の音楽に対する考えやイメージを考えてくる。 (復習) 授業の学びを基に、自分なりの考えを小レポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	<人とつながる音楽>(永津) ワークを通して、子どもを感受し受け止める力を養う。ふれあい遊び・歌遊びを行う。	講義 演習 グループワーク・発表 小レポートの提出	歌遊びの意義を理解し、遊びを覚えることができる。	(予習) 自分自身の歩く速さ(テンポ)や話す速さを意識する。 (復習) 授業の学びを基に、自分なりの考えを小レポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	<身体・声を使った表現>(永津) 身体から生まれる音素材を探し、ボディパーカッションやヴォイスパーカッションで表現する。	講義 演習 グループワーク・発表 小レポートの提出	リズム表現を工夫してボディパーカッション等の発表ができる。	(予習) 指定された動画を視聴する。 (復習) 授業の学びを基に、自分なりの考えを小レポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<子どもの発達と歌遊び> (永津) 音楽的発達について学び、発達に合わせた歌遊びを行う。	講義 演習 グループワーク・発表 小レポートの提出	発達に合わせた歌遊びを考え、発表することができる。	(予習) 手遊びを2つ覚えてくる。 (復習) 授業の学びを基に、自分なりの考えを小レポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	<環境と音感受> (永津) 耳を開き五感を通して、周囲のさまざまな音の響きを感じ取り、記録する。音感受の意義について考える。	講義 演習 グループワーク・発表 小レポートの提出	身の回りの環境に関心を持ち、音感受の意義を理解することができる。	(予習) 「虫のこえ」を覚えてくる。 (復習) 家の周りで収集した音をマップにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	<物語と音楽> (永津) 場面の情景や感情にふさわしい音素材を探して、音や音楽をつける。音による描写や感情表現について考える。	講義 演習 グループワーク・発表 小レポートの提出	ふさわしい音素材を探し、音楽表現を工夫して発表することができる。	(予習) 指定された物語を読んで、内容を理解する。 (復習) 授業の学びを基に、自分なりの考えを小レポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	<表現の融合②> (古田) 感じた音を色や形に表す(絵画と音楽)	講義 作品制作 小レポート	感じた音を色や形に表すことに関心を持ち、作品を制作することができる。 (作品、小レポートの提出)	(予習) 自分が音楽的だと感じる絵画作品について調べる。 (復習) 作品、小レポートを完成させ、次週提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	<表現の融合③> (古田) 感じた音を形に表す(音楽と立体)	講義 作品制作 小レポート	感じた音を形に表すことに関心を持ち、作品を制作することができる。 (作品、小レポートの提出)	(予習) 音楽的だと評される立体作品について調べる (復習) 作品、小レポートを完成させ、次週提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	<楽器づくり> (古田) ・身近な素材や廃材を使って楽器を制作する。	作品制作	身近な材料を使い、楽器としての機能を持ったものが制作できている。 (作品提出)	(予習) 楽器の種類やその構造、素材について調べ、自分なりの制作に対する見通しを持っておく。使う材料や用具、道具の準備をする。 (復習) 次週までに必ず作品を完成させておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	<自分で作った楽器で演奏会> (永津) 制作した手作り楽器を用いて、子どもの歌に合わせて合奏する。	講義 演習 グループワーク・発表 小レポートの提出	音楽表現を工夫して合奏を発表することができる。	(予習) 手作り楽器の音の特徴や鳴らし方の工夫を考えてくる。 (復習) 授業の学びを基に、自分なりの考えを小レポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力